



ゼオンの海外拠点 — 中国のゴムコンパウンド製造拠点編 —



瑞翁化工(広州)有限公司



瑞翁化工(上海)有限公司



ゴムコンパウンド製品

ゼオングループの合成ゴム事業は、合成ゴムそのものだけでなく、ゴムに充填材や架橋剤を配合して混練した加工品をゴムコンパウンドとして製造販売しています。1967年に事業化したゴムコンパウンドは、主にホース、チューブ、パッキン、シール材など自動車部品用途に使われており、これまで当社ゴム事業の発展とともに半世紀以上の歴史を歩んでまいりました。現在、製造拠点を日本、タイ、中国(上海、広州)に構えております。

中国2拠点の一つ、瑞翁化工(上海)有限公司は2000年に設立され、今年創立20周年を迎えました。主にHNBR、NBRを主原料に

独自開発のレシピで白コンパウンドを生産しています。白コンパウンドはカーボンフリー用途や、製造工程での誤使用防止などさまざまな着色ニーズがあり、今後の拡大が期待されています。

瑞翁化工(広州)有限公司は2003年に設立されました。中国華南地区に集積する自動車産業向けに各種ゴムをベースにしたゴムパウンドを供給し、中国の自動車産業の発展に貢献しています。

日本ゼオン株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2 (新丸の内センタービル)
〒100-8246 電話03 (3216) 1772



ZEON

日本ゼオン株式会社

証券コード 4205

株主のみなさまへ

第96期 中間報告書

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日

戦略的な設備投資と研究開発を継続するとともに
テレワークを中心とした働き方の変革に取り組み、
新型コロナウイルス感染症対策の徹底と
円滑な事業運営の両立をめざしてまいります。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第96期中間期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の報告書をお届けいたします。株主のみなさまには引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長 田中公章

Q 2020年9月中間期の経営環境と連結業績をご説明ください。

A 新型コロナウイルス感染症の影響で減収減益となりましたが、
高機能材料事業は四半期決算として過去最高益を達成しました。

中間連結財務ハイライト	
■売上高	1,374億円 前年同期比 15.9%減
■経常利益	109億円 前年同期比 31.8%減
■親会社株主に帰属する四半期純利益	82億円 前年同期比 29.2%減

2020年9月中間期の経営環境は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界経済の減速と米中貿易摩擦の深刻化を受け、極めて厳しい状況で推移いたしました。この結果、当中間期の連結業績は、売上高が前年同期比15.9%減の1,374億円、経常利益が同31.8%減の109億円、親会社株主に帰属する四半期純利益が同29.2%減の82億円となりました。事業環境が急激に悪化する中、収益力の強化に向けた取り組みも効果は限定的となりました。

セグメント別の状況のうち、エラストマー素材事業では、自動車産業向けや一般工業品向けの特種ゴムが市場の需要減により減収となりましたが、主にタイヤ用途向けの汎用ゴムは回復の兆しを見せつつあります。一方、ラテックスおよび化成品は時機を捉えた拡販策が奏功して前年同期並みの出荷量を維持しました。高機能材料事業は、高機能ケミカル関連はEV向け電池材料の荷動きが鈍かったことなどから前年同期比で減収となりましたが、光学フィルムなどの高機能樹脂が堅調に推移したこともあり、四半期決算としては過去最高益を達成しています。

Q 設備投資ならびに新製品開発の現況と今後の方針をお聞かせください。

A 日本(敦賀・水島)とタイで生産設備の増強を図っています。
また、半導体および医療向けに画期的な新製品をリリースしました。

当社グループが持続的な成長を実現し、社会課題の解決に貢献する企業であり続けるためには、生産システムの高度化による安定供給体制の維持・拡大と、将来の収益源となる新たな製品・サービスの創出が欠かせません。当社グループはこうした認識のもと、昨今の困難な経営環境下でも積極的な設備投資と研究開発活動を継続しています。

エラストマー素材事業では、タイのアクリルゴム製造工場が2020年5月に完工しました。年間5,000トンの生産能力を有する本工場は、2021年4月の本格販売開始を予定しています。一方、高機能材料事業では、敦賀市で建設を進めてきた大型TV用光学フィルムの新ラインが2020年4月に稼働を開始したほか、水島工場で実施されている光学樹脂の生産能力増強工事が2021年7月に完了する見通しです。これらの設備投資により、当社グループの製品供給体制がさらに進化するものと期待しています。

2020年9月中間期における新製品開発については、7月に半導体パッケージ基板向けのポジ型感光性絶縁材料「ZEOCOAT®ZC100」、8月にFFRシステム^(注)を構成するモニタの次世代製品「オプトモニタ 3」を相次いでリリースしました。

(注)FFRシステム…冠動脈の診断および治療において、病変の重症度を定量的に評価し治療戦略を決定するための冠血流予備量比(FFR)測定を行うことを目的としたシステム

2020年のありたい姿

『化学の力で未来を今日にするZEON』

—わたしたちゼオンは、一人ひとりの成長を通じて、お客様の夢と快適な社会の実現に貢献し続けます—

2020年度連結売上高 5,000億円以上

Q 新型コロナウイルスの感染拡大に対して、
日本ゼオンではどのような対応策を講じていますか。

A 新型コロナウイルスの蔓延終結に貢献するため
「COVID-19と戦う知財宣言」に参画しました。

当社グループは新型コロナウイルスの感染防止と事業活動の円滑な遂行の両立をめざしています。2020年9月中間期においては、全拠点で検温・マスク・除菌を徹底したほか、不必要な出張や移動を制限。本社と研究所ではテレワークの導入と定着を図りました。

2020年10月には、経団連等が協賛・後援する「知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言(COVID-19と戦う知財宣言)」に参画しました。本宣言に記載された条件のもと、当社は一定期間、新型コロナウイルス感染症の蔓延終結を唯一の目的とした開発・製造・販売等の行為に対して当社が保有する特許権や実用新案権などの権利行使を行わず、対価や補償を求めないこととします。当社は今回の宣言を契機に、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策において、他の企業や団体との協調の可能性を検討していく方針です。

健康と福祉を実現するゼオンの製品群

3

すべての人に
健康と福祉を



事業活動を通じたSDGsへの貢献

「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」—持続可能な開発目標 (SDGs) の3番目として掲げられたこの目標に、ゼオングループはその製品やサービス、また、素材・部材としてゼオンの製品が活用されている最終製品を通じて貢献しています。

▶手袋用合成ラテックス

Product #01

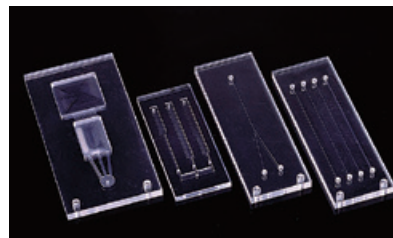
天然ゴムに含まれるたんぱく質に対するアレルギー反応への懸念から、NBRラテックスを使用した合成ゴム手袋への転換が進んでいます。新型コロナウイルスへの対応で医療用をはじめとした使い捨て手袋の需要は顕著に拡大しており、引き続き生産・供給量の増加に注力してまいります。



▶マイクロ流路チップ試作受託サービス

Product #02

微細加工技術を利用して微小流路や反応容器を成形したマイクロ流路チップは、製薬や体外診断などの医薬分野での利用が拡大しています。1枚の試作から量産まで柔軟に対応し、成形、切削、接合までワンストップで受託できる体制を整えています。



▶医療系容器用 シクロオレフィンポリマー (COP)

Product #03

COPはたんぱく質などの吸着が少ないため、プレフィルドシリンジ(あらかじめ薬液を満した注射容器)をはじめ、さまざまな最新の医療系容器への採用が進んでいます。また、割れにくい点も医療の現場では歓迎されています。



▶熱可塑性エラストマー-SIS (スチレンイソプレヌブロックポリマー)

Product #04

紙おむつ用エラストックフィルム材料として、その良好な性能によりおむつ1枚あたりに使用されるフィルムの量を減らし、軽量化に貢献。また、下着のような柔らかさを持たせられるため、より快適でスリムなおむつを実現します。



▶胆管結石除去用カテーテル

Product #05

ゼオンメディカル(株)が展開するバルーンカテーテルは、結石除去の治療で高い評価を得ており、患者様の苦痛軽減、医療関係者の負担軽減につながっています。



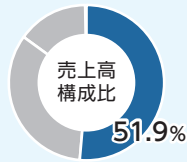
売上高

売上高の推移

概要

会社基盤を支える事業

エラストマー素材
事業部門

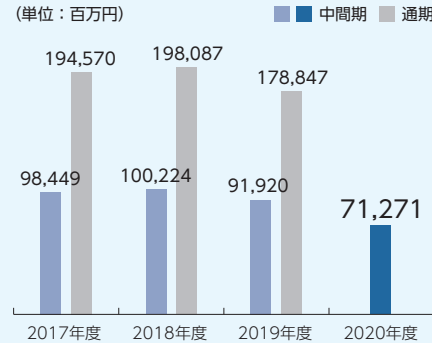


- 合成ゴム
- 合成ラテックス
- 化成品

712億71百万円

22.5%

(前年同期比)



合成ゴム

新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済悪化の影響が続き、主要市場である自動車産業向けをはじめとして一般工業品用途向けの大幅な落ち込みからの回復の足取りも重く、国内・輸出・海外子会社とも低調に推移した結果、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

合成ラテックス

新型コロナウイルスの感染拡大を契機に医療・衛生用手袋向けの販売は堅調に推移しましたが、化粧品材料や一般工業品用途などの需要減に加え原料動向に連動した価格下落により、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

化成品

欧米需要が底堅く、販売数量は前年同期を上回りました。原料市況の下落に伴い製品市況も下落し全体の売上高は前年同期を下回りましたが、営業利益は前年同期を上回りました。

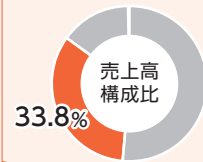
● 当事業部門全体の売上高は712億71百万円(前年同期比22.5%減)、営業利益は8億29百万円(同86.1%減)となりました。



製品用途例

新規展開を中心とする事業

高機能材料
事業部門

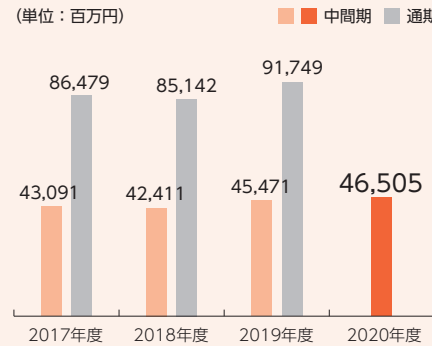


- 高機能樹脂
- 高機能ケミカル
- 医療器材

465億5百万円

2.3%

(前年同期比)



高機能樹脂

光学フィルムが堅調に推移しました。この結果、高機能樹脂関連全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

高機能ケミカル

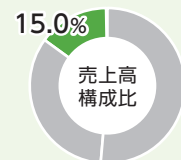
トナーおよび電池材料は売上高、営業利益ともに前期同期を下回りました。化学品および電子材料は売上高、営業利益ともに前期同期を上回りました。この結果、高機能ケミカル関連全体の売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

● 当事業部門全体の売上高は465億5百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は97億47百万円(同6.1%増)となりました。



製品用途例

その他の事業部門

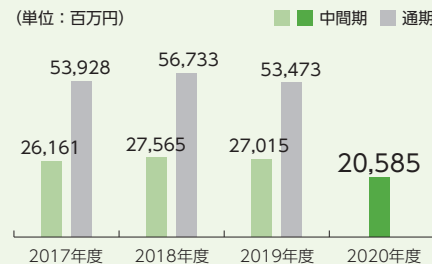


- RIM 配合液・
成形品
- 塗料ほか

205億85百万円

23.8%

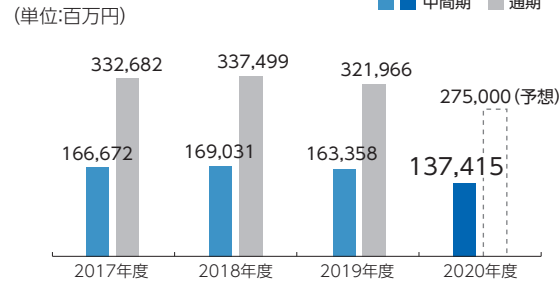
(前年同期比)



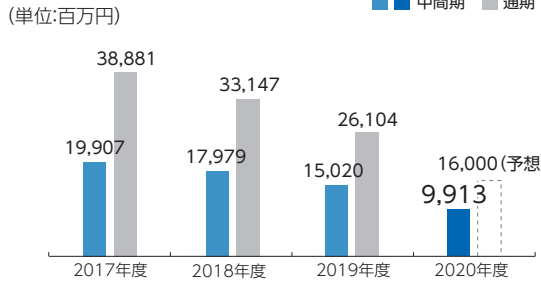
● 子会社の商事部門等の売上高が前年同期を下回りました。この結果、全体の売上高は205億85百万円(前年同期比23.8%減)、営業利益は4億59百万円(同60.7%減)となりました。



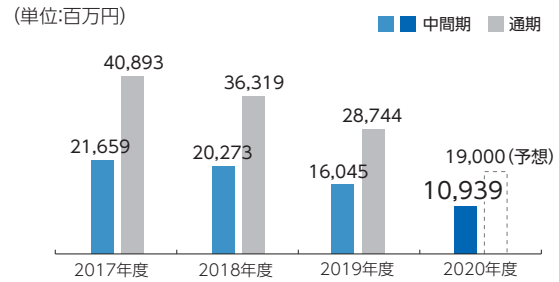
売上高



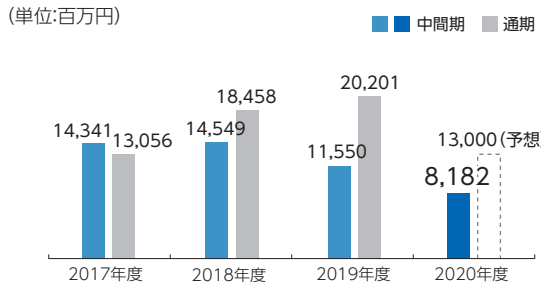
営業利益



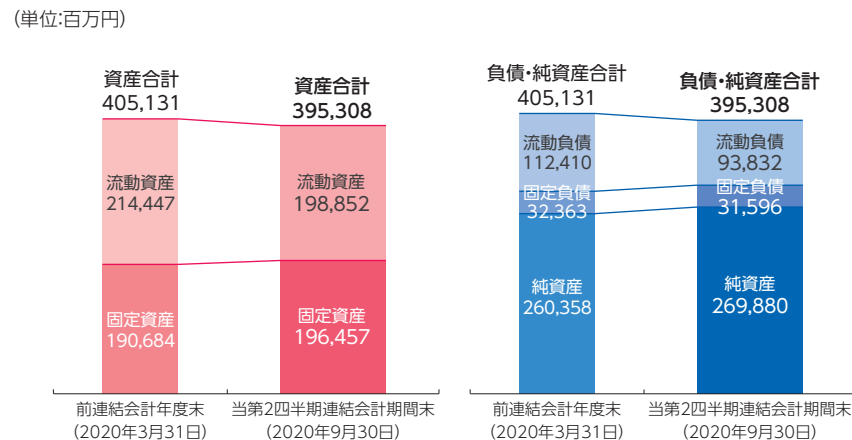
経常利益



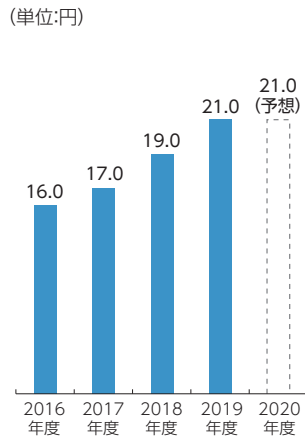
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



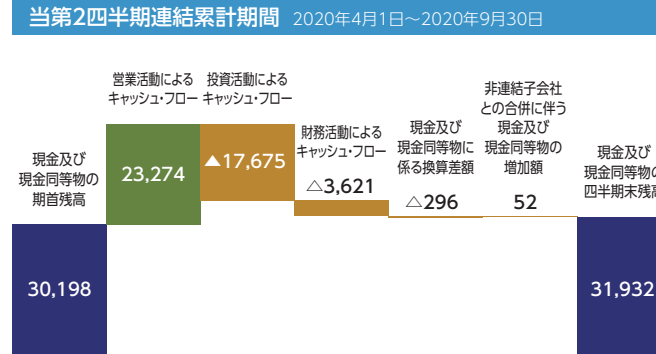
連結貸借対照表



年間配当金



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日
基準日	毎年3月31日 (その他臨時に必要があるときは、あらかじめ公告します。)
公告方法	電子公告 http://www.zeon.co.jp/ (ただし電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。)
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-8507) 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

「気候関連財務情報開示タスクフォース」提言に賛同

当社は2020年8月13日付で「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」提言への賛同を表明しました。今後はTCFD提言を踏まえ、気候変動が当社事業に及ぼすリスク・機会を分析し、経営戦略に反映することで経営基盤の強化を図るとともに、気候変動に関連する情報開示を進めることで、ステークホルダーとのさらなる信頼関係を醸成し、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します。

また、TCFDへの賛同に伴い「TCFDコンソーシアム」にも参加しました。他のコンソーシアム参加企業や金融機関等との議論を通じて得られた知見を大いに活用し、より効果的な情報開示や、開示した情報を適切な投資判断に繋げてもらうための取り組みを検討・推進してまいります。



■ 会社の概要 (2020年9月30日現在)

商号 日本ゼオン株式会社
(ZEON CORPORATION)
設立 1950年4月12日
資本金 242億1千1百万円
本社 〒100-8246
東京都千代田区丸の内1-6-2
新丸の内センタービル
電話 03(3216)1772
従業員 3,521名(連結)

■ 役員 (2020年9月30日現在)

取締役社長	田中 公章	常務執行役員	豊嶋 哲也
取締役	平川 宏之(☆)	常務執行役員	曾根 芳之
取締役	西嶋 徹(☆)	執行役員	渡辺 えりさ
取締役	松浦 一慶(*)	執行役員	小瀬 智之
取締役	伊藤 晴夫	執行役員	渡辺 誠
取締役	北畑 隆生	執行役員	川中 孝文
取締役	南雲 忠信	執行役員	江口 勉
常勤監査役	古谷 岳夫	執行役員	富永 哲
常勤監査役	平川 慎一	執行役員	大井 喜信
監査役	郡 昭夫	執行役員	小西 裕一郎
監査役	西島 信竹		
監査役	木村 博紀		

(☆) の取締役は常務執行役員を兼務しております。
(*) の取締役は執行役員を兼務しております。

■ 株式の状況 (2020年9月30日現在)

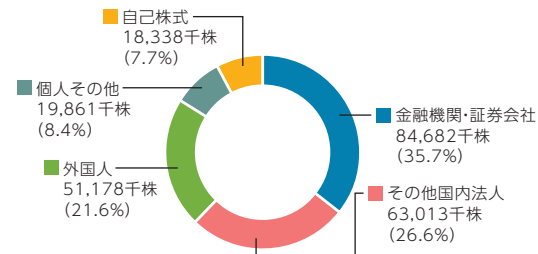
発行可能株式総数 800,000,000株
発行済株式の総数 237,075,556株
株主数 9,122名(前年度末比162名減)

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
横浜ゴム株式会社	22,682	10.37
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	13,520	6.18
株式会社日本カストディ 銀行(信託口)	10,467	4.79
株式会社みずほ銀行	9,600	4.39
朝日生命保険相互会社	7,679	3.51
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	6,807	3.11
旭化成株式会社	6,438	2.94
全国共済農業協同組合連合会	6,055	2.77
農林中央金庫	4,000	1.83
日本ゼオン取引先持株会	3,841	1.76

(注) 1.持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2.当社は自己株式18,338千株を保有しておりますが、上記の表には記載して
おりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



■ ゼオングループの主要拠点



日本国内拠点

- 日本ゼオン株式会社
 - 本社
 - 総合開発センター
 - 高岡工場
 - 川崎工場
 - 徳山工場
 - 水島工場
 - 大阪事務所
 - 名古屋事務所
- 株式会社オプテス
- ゼオンエフアンドビー株式会社
- ゼオンオプトバイオラボ株式会社
- ゼオン化成株式会社
- ゼオンケミカルズ米沢株式会社
- ゼオンナノテクノロジー株式会社
- ゼオンノース株式会社
- ゼオンポリミクス株式会社
- ゼオンメディカル株式会社
- ゼオン山口株式会社
- 東京材料株式会社
- 株式会社トウベ
- RIMTEC株式会社
- ZSエラストマー株式会社
- 岡山プラジエン株式会社
- ジスイنفotechノ株式会社

グローバル拠点

アジア・オセアニア

- 瑞翁(上海)管理有限公司
- 瑞翁貿易(上海)有限公司
- 瑞翁化工(上海)有限公司
- 瑞竹化工(上海)有限公司
- 瑞翁化工(広州)有限公司
- 瑞翁(広州)医療器械有限公司
- 瑞翁化成塑料(常熟)有限公司
- 泉瑞股份有限公司
- 台湾瑞翁股份有限公司
- Zeon Korea Co., Ltd.
- 濟新株式会社
- Zeon Chemicals Singapore Pte. Ltd
- Zeon Asia Pte. Ltd
- Asia Technical Support Laboratory
- Zeon Asia Malaysia Sdn. Bhd.
- Zeon Chemicals (Thailand) Co., Ltd.
- Zeon Advanced Polymix Co., Ltd.
- Zeon Manufacturing Vietnam Co., Ltd.
- Zeon Research Vietnam Co., Ltd.
- Zeon India Private Limited

欧州

- Zeon Europe GmbH
- Zeon Europe GmbH - Branch in France
- Zeon Europe GmbH - Branch in Spain
- Zeon Europe GmbH - Branch in Italy
- Zeon Europe GmbH - Branch in U.K.
- Telene S.A.S.

北米・中南米

- Zeon Chemicals L.P.
- Zeon Chemicals L.P. R&D Center
- Zeon Chemicals L.P. Kentucky Plant
- Zeon Chemicals L.P. Mississippi Plant
- Zeon Chemicals L.P. Texas Plant
- Zeon Specialty Materials Inc.
- Zeon do Brasil Ltda.
- Zeon Kasei Mexico S.A. de C.V.